

古文書を読む会学習記録

作成日 平成28年 4月15日

開催日	平成28年 4月 14日	時 間	10:00～12:00
場 所	区民活動センター	出席人数	14名
講 師	真田雅行氏	作成者	佐藤和広
テーマ	第一学習 赤井村石井家文書 ④		
概要	<p>1 寛政二戌年 松平越中守様よりお渡しがあった書付の写し</p> <p>近来、各地で不漁が続き干鰯の在庫が払底し、値段が高値になり田畑に施す肥料が届き兼ねている情報を聞いたので、潰畑をとりまとめたり、肥料がなくても育つ堤などに麻芋を植えたり、其の外船道具等の値段や沖合水主の給金を謂れなく引き上げないように申しつけること。</p> <p>武蔵、上総、下総、上野、下野、常陸六か国の内、御料は御代官、私領は領主、地頭より申渡すように。</p> <p>2 手配書</p> <p>橘屋次右衛門を殺害し、逃げ去った同人養子の大工半兵衛の人相書</p> <p>一、年式拾八才、年齢よりも年増に見える。一、出生は摂州能勢郡天王村。</p> <p>一、中背面体平顔でほうすぼみ顔色赤黒く髭有り。みけん壱寸ばかり新しき疵有り。一、二重まぶた出眼。一、眉も厚き方。一、歯並よく白き方。一、鬢厚き方、月代薄く生際左へ寄る、七八分のところに右疵跡有り。一、耳常体。</p> <p>一、胸毛少有り。一、其節の衣服木綿浅黄地堅紫横紺、縞単物</p> <p>右の通りのものがいたらその場に留置、代官に申出ること。</p> <p>3 困米報告</p> <p>天候が順調な時は凶年の備えが自然と等閑になりがちだが、一統難儀のことなので、なるだけ困米(米の備蓄)をするよう領民に教え諭します。</p> <p>なお夏の大風で松の被害が出たので被害状況と植え替えたこと事報告します。</p> <p>4 南鐐二朱銀</p> <p>(南鐐三朱銀とはそれまでの丁銀や豆板銀は目方を計りその重量によって交換価値を計算して使用する秤量貨幣として用いられてきたが。一定の純分と分量とを有し、一定の形状に鑄造した表面に一定の価格が表示された銀の計数貨幣。明和九年以来通達により通用)</p> <p>これを上銀(上質)南鐐三朱銀と呼んでいるが、通用については同様に南鐐銀八枚を以て金壱両と両替すべきこと。二朱銀両替の節の切賃(手数料)は今迄同様とすべきこと。(流通地域のバラツキ等詳細は追って通達)</p>		
次回予定	平成28年4月28日 10:00～12:00 於:新棟リハーサル室 第二学習 奥の細道④		